

いわての観光統計

「観光入込客統計に関する共通基準」
に基づく統計量推計結果
(令和2年4月～6月・暫定値)



岩手県PRキャラクター「わんこきょうだい」

令和2年12月
岩手県商工労働観光部
観光・プロモーション室

目次

1. 調査概要	1
(1) 調査対象期間	1
(2) 共通基準について	1
(3) 調査方法	1
(4) 調査体系	1
(5) 集計対象（範囲）	2
(6) 用語の定義	2
(7) その他	3
① 延べ人数と実人数について	3
② 調査エリアについて	3
2. 調査結果	4
(1) 調査対象地点数	4
(2) パラメータ調査地点及び取得調査票数	4
(3) 観光地点等入込客数（延べ人数）	5
① 総数	5
② 地域別入込客数	5
③ 月別入込客数	5
④ 市町村別・月別入込客数	6
⑤ 地域別・分類別入込割合	7
(4) 観光入込客数（実人数）	8
(5) 観光消費額	12
① 観光消費額単価（宿泊日帰り別・県外県内別）	12
② 観光消費額（宿泊日帰り別・県外県内別）	14

※ 本資料の数値は暫定値のため、年間の確定値（令和2年1月～12月）資料において、数値が変わる場合があります。

1. 調査概要

(1) 調査対象期間

令和2年4月1日～令和2年6月30日

(2) 共通基準について

観光立国の実現に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的として制定された観光立国推進基本法（平成18年法律第117号）において、国は観光に関する統計の整備に必要な施策を講ずることとされている。また、観光立国推進基本計画（平成19年6月29日閣議決定）において、「日帰り旅行者に関する統計等その他の観光旅行者に関する統計について、都道府県が行っている統計調査を踏まえつつ、地方公共団体が採用可能な共通基準を策定し、平成22年に共通基準での調査の実施を目指す」とされた。

共通基準は、都道府県における観光入込客に関する統計＝「観光入込客統計」について、把握する項目の定義、調査手法、推計方法等に関する基準を共通化し、都道府県が相互に比較可能な信頼性の高い統計を作成する目的で定めたものである。

(3) 調査方法

観光入込客統計は、以下に掲げる調査により、都道府県ごとの観光入込客数、観光消費額単価、観光消費額についての統計量を示すものである。

① 観光地点等入込客数調査（全数調査）

都道府県内の観光地点及び行祭事・イベントに訪れた人数を、観光地点の管理者、行祭事・イベントの実施者等に四半期ごとに報告を求め調査するもの。

② 観光地点パラメータ調査（サンプル調査）

都道府県内の観光地点を訪れた観光客を対象に、訪問地点数、観光消費額単価等について、四半期ごとに調査するもの。

③ 他の統計調査

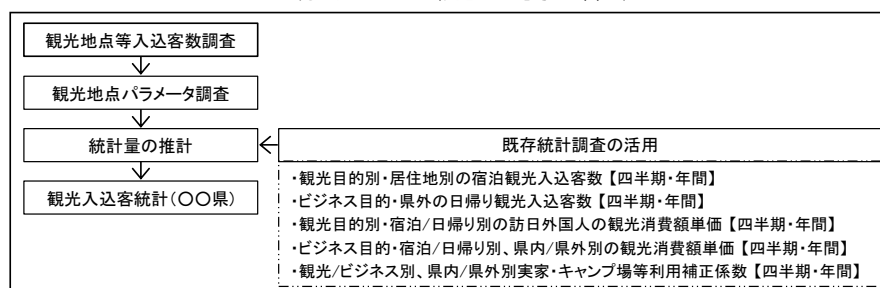
上記①②を補完するため、国で承認された一般統計である宿泊旅行統計調査、旅行・観光消費動向調査等を活用する。

(4) 調査体系

本調査の実施単位は岩手県だが、調査内容が多岐に渡ることから、岩手県及び県内の市町村が相互に連携・協力して実施しているものである。

市町村は選定した観光地点の管理者や行祭事・イベントの運営者に観光入込客数を確認し、岩手県は市町村からの報告結果をとりまとめるとともに、10地点以上の観光地を選定し、観光地点パラメータ調査を実施した。

図1 観光入込客統計の調査体系



(5) 集計対象（範囲）

観光入込客統計で統計量を推計する対象となる観光地点は、以下の 3 つの要件を満たす観光地点となる。ただし、行祭事・イベントについては、②及び③の要件を満たすものを集計の対象として取り扱うものとする。

- ① 非日常利用が多い（月 1 回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満）と判断される地点であること。ただし、「訪問する頻度が高い者＝日常利用者である」とは言い切れない地点については、本要件を満たすものとして取り扱っても差し支えない。
- ② 観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
- ③ 観光入込客数が年間 1 万人以上、若しくは特定月の観光入込客数が 5 千人以上であること。

なお、上記の確認は、毎年 1 月 1 日現在で行うこととなっている。調査年の途中で、観光入込客数が上記の要件を満たすこととなった観光地点が新設された場合は、要件を満たすことになる四半期から名簿に追加することとする。

また、1 度限りの大規模な行祭事・イベント等、前年の入込客数が把握できないものの、調査年の途中で観光入込客数が上記要件を満たすこととなった場合も、同様に名簿に追加することができる。

(6) 用語の定義

本報告に使われる用語の定義を以下に記す。

観光	余暇、ビジネス、その他の目的のため、日常生活圏を離れ、継続して 1 年を超えない期間の旅行をし、また滞在する人々の諸活動
ビジネス目的	旅行の主目的がビジネスである者が、観光地点を訪れることを意味する。
観光地点	観光・ビジネスの目的を問わず、観光客を集客する力のある施設又はツーリズム等の観光活動の拠点となる地点を意味し、日常的な利用、通過型の利用がほとんどを占めると考えられる地点は対象としない。
行祭事・イベント	行祭事とは、地域住民の生活において伝統と慣行により継承されてきた、恒例として日を定め執り行う歴史的催し・祭り、郷土芸能等の集合を意味し、イベントとは、常設又は特設の会場施設において行われる博覧会、見本市、コンベンション等を意味する。
観光入込客	日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない。観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を観光入込客とする。
訪日外国人客	観光入込客のうち、日本以外の国に居住し、観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者
観光地点等入込客数	観光地点及び行祭事・イベントごとの観光入込客の総数
観光入込客数	都道府県の観光地点を訪れた観光入込客をカウントした値で、例えば、1 人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点を訪れたとしても 1 人・回と数える。
訪問地点数	観光入込客 1 人の 1 回の旅行において、当該都道府県内で訪問した観光地点の数
観光消費額単価	観光入込客 1 人の 1 回の旅行における当該都道府県内での観光消費額
観光消費額	当該都道府県を訪れた観光入込客の消費の総額。観光入込客数と観光消費額単価を掛け合わせることで算出される。

(7) その他

① 延べ人数と実人数について

観光入込客数の実人数とは1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地を訪問した場合でも「1」と数えるもので、延べ人数の場合は1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地を訪問した場合にその観光地の数だけ数える（例えば5箇所を訪問した場合は「5」と数える）ものである。

② 調査エリアについて

調査対象となる岩手県内の4つの地域（県央エリア、県南エリア、沿岸エリア、県北エリア）は以下のとおり。

図2 調査エリア



2. 調査結果

(1) 調査対象地点数

調査の対象となる地点数は表1に示すとおり。観光地点総数が294、行祭事・イベント数が126である。

表1 調査対象地点数

総計	観光地点計							行祭事・イベント	内、当該四半期分
	自然	歴史・文化	温泉・健康	スポーツ・レクリエーション	都市型観光(買物・食等)	その他			
420	294	38	62	75	57	33	29	126	1

(2) パラメータ調査地点及び取得調査票数

今回実施した観光地点を対象としたアンケート調査の概要は以下のとおりである。

[調査実施時期] 令和2年6月、7月

[調査地点] 表2に示すとおり、岩手県内の観光地点10地点で実施

[調査内容] 観光の目的、訪問(予定)観光地点、交通手段、滞在日数、旅行予算など、観光に係る項目

[調査票回収件数] 723件

調査地点別の回収件数、旅行人数は以下のとおりである。

表2 アンケート調査票件数、旅行人数(調査地点別)

調査地点	市町村	地域	調査実施日	調査票回収件数	旅行人数(本人含む)
盛岡手づくり村	盛岡市	県央地域	6/28	60	194
道の駅にしね	八幡平市	県央地域	7/5	60	160
小岩井農場	雫石町	県央地域	6/27	70	247
えさし藤原の郷	奥州市	県南地域	7/5	50	119
道の駅遠野風の丘	遠野市	県南地域	7/5	87	227
中尊寺(町営第一駐車場)	平泉町	県南地域	7/4	75	177
浄土ヶ浜ビジターセンター	宮古市	沿岸地域	7/4, 5	61	166
道の駅高田松原	陸前高田市	沿岸地域	7/4, 5	95	300
道の駅くじやませ土風館	久慈市	県北地域	7/4, 5	84	212
なにや〜と物産センター	二戸市	県北地域	6/27, 28	81	166
合計				723	1,968

(3) 観光地点等入込客数（延べ人数）

① 総数

令和2年4月～6月の入込客数（延べ人数）は、岩手県全体で2,411,935人回となった。前年同期比では30.5%、東日本大震災発災前の平成22年同期比では31.8%となり、新型コロナウイルス感染症の影響拡大や新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言※（以下「緊急事態宣言」という。）を受けての外出自粛等により、いずれも大幅に下回る結果となった。

※ 4月7日：緊急事態宣言（7都府県）、4月16日：緊急事態宣言（全国）、5月14日：緊急事態解除宣言（8都道府県を除く）、5月25日：緊急事態解除宣言（全国）、6月19日：都道府県をまたぐ移動自粛要請解除（全国）

② 地域別入込客数

岩手県内の4つの地域（県央エリア、県南エリア、沿岸エリア、県北エリア）の入込客数は、表3に示すとおりである。昨年と同様、県南エリアが958,842人回と最も多かった。

前年同期と比較すると、県央エリアが30.3%、県南エリアが26.5%、沿岸エリアが33.4%、県北エリアが45.4%と、いずれも大幅に下回る結果となった。

表3 地域別入込客数（延べ人数）

単位：人回

地域区分	4月	5月	6月	令和2年 4-6月期 合計	令和元年 同期比	令和元年 4-6月期 合計	平成22年 同期比	平成22年 4-6月期 合計
県央エリア	143,180	171,361	308,016	622,557	30.3%	2,057,272	33.2%	1,872,448
県南エリア	250,660	282,903	425,279	958,842	26.5%	3,620,767	27.6%	3,469,347
沿岸エリア	129,136	129,701	241,546	500,383	33.4%	1,498,714	32.5%	1,541,323
県北エリア	93,068	101,378	135,707	330,153	45.4%	726,537	46.8%	705,203
総計	616,044	685,343	1,110,548	2,411,935	30.5%	7,903,290	31.8%	7,588,321

※ 「平成22年同期」及び「平成22年4-6月期」は東日本大震災発災前の平成22年度4-6月期（平成22年4-6月）であること。

③ 月別入込客数

岩手県全体での月別の入込客数（延べ人数）は表4に示すとおりである。

6月が1,110,548人回と最も多い。前年比では、新型コロナウイルス感染症の影響拡大や緊急事態宣言を受けての外出自粛等により、4月及び5月は20%台となったが、緊急事態宣言解除後の6月は53.1%と回復基調に転じた。平成22年比では、4月が31.6%、5月が20.4%、6月が48.8%と、いずれも震災前を大幅に下回る結果となった。

表4 月別入込客数（延べ人数）

単位：人回

月	令和2年	令和元年比	令和元年	平成22年比	平成22年
4月	616,044	25.9%	2,380,271	31.6%	1,947,672
5月	685,343	20.0%	3,431,327	20.4%	3,366,690
6月	1,110,548	53.1%	2,091,692	48.8%	2,273,959

※ 「平成22年」は東日本大震災発災前の平成22年度4-6月期（平成22年4-6月）であること。

④ 市町村別・月別入込客数

岩手県内の市町村毎の月別入込客数（延べ人数）は表5に示すとおりである。

最も入込客数が多かったのは一関市の254,969人回で、次いで遠野市の223,583人回、八幡平市の177,925人回、宮古市の174,955人回となった。また、前年同期比では、大槌町が82.3%と最も高いものの、新型コロナウイルス感染症の影響拡大や緊急事態宣言を受けての外出自粛等により、すべての自治体で前年同期を下回っている。

表5 市町村別・月別入込客数（延べ人数）

単位：人回

地域	市町村	4月	5月	6月	4-6月期合計	令和元年 同期比	令和元年 4-6月期合計	平成22年 同期比	平成22年 4-6月期合計
県央エリア	盛岡市	22,726	26,163	83,932	132,821	19.8%	670,338	22.3%	594,367
	八幡平市	41,401	56,396	80,128	177,925	42.8%	415,831	64.7%	274,913
	滝沢市	3,462	6,167	8,903	18,532	14.4%	128,308	20.0%	92,662
	雫石町	31,351	34,766	68,288	134,405	28.7%	468,376	31.3%	429,052
	葛巻町	7,378	10,905	14,832	33,115	20.7%	160,205	18.3%	180,595
	岩手町	11,352	13,833	17,070	42,255	70.2%	60,233	73.3%	57,640
	紫波町	18,605	17,367	26,941	62,913	51.9%	121,310	38.0%	165,767
	矢巾町	6,905	5,764	7,922	20,591	63.0%	32,671	26.6%	77,452
	小計	143,180	171,361	308,016	622,557	30.3%	2,057,272	33.2%	1,872,448
県南エリア	花巻市	27,639	19,971	62,836	110,446	20.3%	543,517	22.9%	481,833
	北上市	20,078	17,217	21,422	58,717	10.4%	566,571	11.4%	514,438
	遠野市	53,330	78,185	92,068	223,583	50.3%	444,941	42.1%	531,643
	一関市	63,745	78,775	112,449	254,969	43.2%	589,541	40.9%	622,937
	奥州市	41,185	34,589	58,520	134,294	25.6%	523,794	26.2%	512,725
	西和賀町	18,661	25,212	27,746	71,619	68.1%	105,195	59.0%	121,332
	金ヶ崎町	13,065	17,960	18,110	49,135	56.3%	87,239	46.3%	106,144
	平泉町	12,957	10,994	32,128	56,079	7.4%	759,969	9.7%	578,295
	小計	250,660	282,903	425,279	958,842	26.5%	3,620,767	27.6%	3,469,347
沿岸エリア	宮古市	44,011	49,749	81,195	174,955	30.9%	565,628	58.6%	298,340
	大船渡市	21,050	17,815	33,885	72,750	33.8%	215,181	20.6%	353,637
	陸前高田市	22,147	18,956	61,484	102,587	79.6%	128,873	49.0%	209,212
	釜石市	13,016	11,559	24,263	48,838	28.8%	169,542	25.4%	192,455
	住田町	3,471	4,434	5,153	13,058	47.3%	27,596	39.1%	33,393
	大槌町	6,115	6,861	6,540	19,516	82.3%	23,722	92.4%	21,123
	山田町	8,564	7,842	9,130	25,536	40.0%	63,866	32.3%	78,984
	岩泉町	9,011	8,538	16,019	33,568	27.6%	121,706	28.0%	119,929
	田野畑村	1,751	3,947	3,877	9,575	5.2%	182,600	4.1%	234,250
	小計	129,136	129,701	241,546	500,383	33.4%	1,498,714	32.5%	1,541,323
県北エリア	久慈市	10,246	12,991	20,763	44,000	28.2%	155,827	44.5%	98,909
	二戸市	9,482	9,234	15,998	34,714	44.3%	78,362	33.9%	102,517
	普代村	2,165	2,857	2,833	7,855	50.7%	15,492	68.5%	114-68
	軽米町	6,838	8,978	11,512	27,328	52.4%	52,123	49.9%	54,768
	野田村	15,534	15,395	20,086	51,015	74.3%	68,663	63.1%	80,834
	九戸村	3,129	2,376	2,895	8,400	82.2%	10,224	74.7%	11,247
	洋野町	41,607	45,031	53,668	140,306	61.5%	228,279	60.7%	231,182
	一戸町	4,067	4,516	7,952	16,535	14.1%	117,567	14.5%	114,278
	小計	93,068	101,378	135,707	330,153	45.4%	726,537	46.8%	705,203
総計	616,044	685,343	1,110,548	2,411,935	30.5%	7,903,290	31.8%	7,588,321	

※ 「平成22年同期」及び「平成22年4-6月期」は東日本大震災発災前の平成22年度4-6月期（平成22年4-6月）であること。

⑤ 地域別・分類別入込割合

岩手県内の地域別・分類別の入込客数及び割合（延べ人数から算出）は表6及び図3に示すとおりである。

岩手県全体でみると、「その他」を除いては「都市型観光（買物・食等）」の入込が512,906人回と最も多く、県南エリア及び県北エリアで最も多い入込客数を占める分類となっている。なお、県央エリアでは「温泉・健康」、沿岸エリアでは「その他」が、それぞれ最も多い入込客数を占める分類となっている。

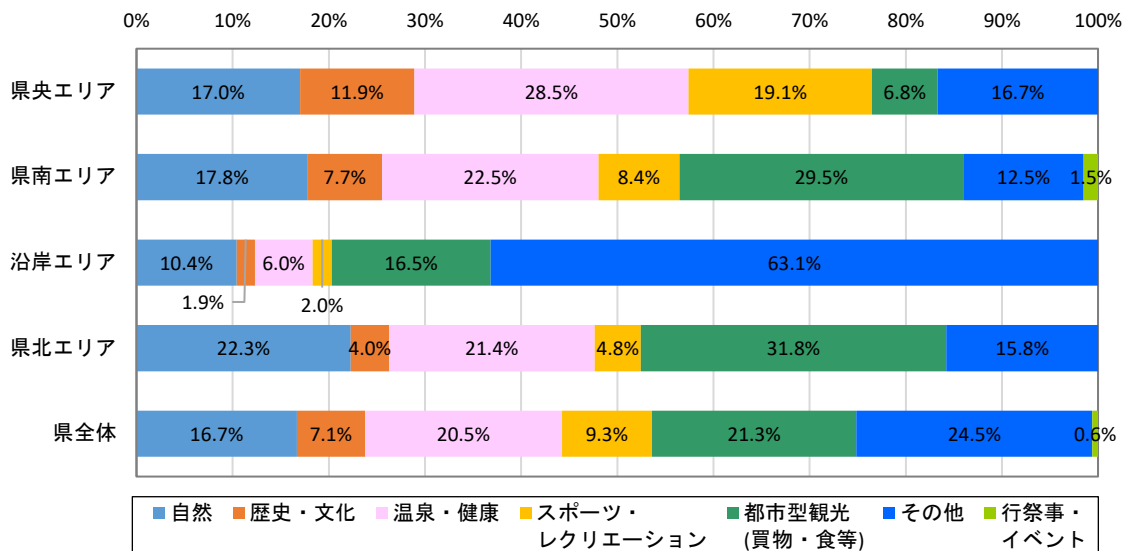
また、新型コロナウイルス感染症の影響拡大等により、一部を除く行祭事・イベントが中止されたことから、行祭事・イベントの入込客数は対前年同期比0.9%（前年同期1,563,494人回）と大幅に下回っている。

表6 地域別・分類別入込客数

単位：人回

地域区分	自然	歴史・文化	温泉・健康	スポーツ・レクリエーション	都市型観光（買物・食等）	その他	行祭事・イベント	合計
県央エリア	106,010	74,001	177,417	119,160	42,294	103,675	0	622,557
県南エリア	170,696	73,944	215,977	80,212	283,207	120,154	14,652	958,842
沿岸エリア	52,212	9,542	30,093	10,154	82,522	315,860	0	500,383
県北エリア	73,629	13,133	70,626	15,845	104,883	52,037	0	330,153
総計	402,547	170,620	494,113	225,371	512,906	591,726	14,652	2,411,935

図3 地域別・分類別入込割合（延べ人数から算出）



※ 端数処理の関係で、合計値が100%にならない場合がある。

(4) 観光入込客数（実人数）

観光入込客数（実人数）は次頁の表7及びP.10の表8に示すとおりである。（実人数は、観光地点等ごとの重複を除いた数値である。1人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点等を訪れたとしても1人・回と数える。）

総数は1,564千人・回で、宿泊・日帰り別では、日帰りが1,262千人・回で80.7%を占めている。また、県外・県内別では、県内が1,085千人・回で69.4%を占めている。

増減率をみると、総数は対前年同期比48.6%となっている。

目的別では、観光目的は対前年同期比53.9%であり、宿泊は同21.5%、日帰りが同64.3%と減少している。また、ビジネス目的は、対前年同期比31.0%であり、宿泊が同29.3%、日帰りは同37.3%と減少している。

宿泊・日帰り別では、宿泊は対前年同期比25.4%、日帰りは同62.1%と減少している。

また、これを県外・県内別でみると、県外が対前年同期比27.7%、県内が同72.6%と、政府による都道府県をまたぐ移動自粛の要請等の影響により、県外からの入込客数が大幅に下回っている。

表7 宿泊日帰り別・県外県内別入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目	宿泊			日帰り			4-6月期 合計	
	宿泊計	県外	県内	日帰り計	県外	県内		
観光目的	令和2年4-6月期 入込客数合計	129	71	58	1,202	298	904	1,331
	観光目的構成比	9.7%	5.3%	4.4%	90.3%	22.4%	67.9%	100.0%
	令和元年同期比	21.5%	16.7%	33.1%	64.3%	39.0%	81.8%	53.9%
	令和元年4-6月期 入込客数合計	600	425	175	1,870	765	1,105	2,470
	平成22年同期比	22.3%	19.5%	27.2%	39.3%	28.0%	45.4%	36.6%
	平成22年4-6月期 入込客数合計	578	365	213	3,056	1,064	1,992	3,634
ビジネス目的	令和2年4-6月期 入込客数合計	173	62	111	60	48	12	233
	ビジネス目的構成比	74.2%	26.6%	47.6%	25.8%	20.6%	5.2%	100.0%
	令和元年同期比	29.3%	15.1%	62.0%	37.3%	38.1%	34.3%	31.0%
	令和元年4-6月期 入込客数合計	590	411	179	161	126	35	751
	平成22年同期比	45.3%	23.4%	94.9%	51.7%	400.0%	11.5%	46.8%
	平成22年4-6月期 入込客数合計	382	265	117	116	12	104	498
合計	令和2年4-6月期 入込客数合計	302	133	169	1,262	346	916	1,564
	構成比	19.3%	8.5%	10.8%	80.7%	22.1%	58.6%	100.0%
	令和元年同期比	25.4%	15.9%	47.7%	62.1%	38.8%	80.4%	48.6%
	令和元年4-6月期 入込客数合計	1,190	836	354	2,031	891	1,140	3,221
	平成22年同期比	31.5%	21.1%	51.2%	39.8%	32.2%	43.7%	37.9%
	平成22年4-6月期 入込客数合計	960	630	330	3,172	1,076	2,096	4,132

※ 「平成22年同期」及び「平成22年4-6月期」は東日本大震災発災前の平成22年度4-6月期（平成22年4-6月）であること。

※ 端数処理の関係で、合計値が合わない場合がある。

※ 入込客数には訪日外国人を含まない。

表8 県外県内別・宿泊日帰り別入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目	県外			県内			4-6月期	
	県外計	宿泊	日帰り	県内計	宿泊	日帰り	合計	
観光目的	令和2年4-6月期 入込客数合計	369	71	298	962	58	904	1,331
	観光目的構成比	27.7%	5.3%	22.4%	72.3%	4.4%	67.9%	100.0%
	令和元年同期比	31.0%	16.7%	39.0%	75.2%	33.1%	81.8%	53.9%
	令和元年4-6月期 入込客数合計	1,190	425	765	1,280	175	1,105	2,470
	平成22年同期比	25.8%	19.5%	28.0%	43.6%	27.2%	45.4%	36.6%
	平成22年4-6月期 入込客数合計	1,429	365	1,064	2,205	213	1,992	3,634
ビジネス目的	令和2年4-6月期 入込客数合計	110	62	48	123	111	12	233
	ビジネス目的構成比	47.2%	26.6%	20.6%	52.8%	47.6%	5.2%	100.0%
	令和元年同期比	20.5%	15.1%	38.1%	57.5%	62.0%	34.3%	31.0%
	令和元年4-6月期 入込客数合計	537	411	126	214	179	35	751
	平成22年同期比	39.7%	23.4%	400.0%	55.7%	94.9%	11.5%	46.8%
	平成22年4-6月期 入込客数合計	277	265	12	221	117	104	498
合計	令和2年4-6月期 入込客数合計	479	133	346	1,085	169	916	1,564
	構成比	30.6%	8.5%	22.1%	69.4%	10.8%	58.6%	100.0%
	令和元年同期比	27.7%	15.9%	38.8%	72.6%	47.7%	80.4%	48.6%
	令和元年4-6月期 入込客数合計	1,727	836	891	1,494	354	1,140	3,221
	平成22年同期比	28.0%	21.1%	32.2%	44.7%	51.2%	43.7%	37.9%
	平成22年4-6月期 入込客数合計	1,706	630	1,076	2,426	330	2,096	4,132

※ 「平成22年同期」及び「平成22年4-6月期」は東日本大震災発災前の平成22年度4-6月期（平成22年4-6月）であること。

※ 端数処理の関係で、合計値が合わない場合がある。

※ 入込客数には訪日外国人を含まない。

また、岩手県を訪れた訪日外国人入込客は表9に示すとおりである。新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、多くの国で海外渡航制限等の措置が取られていること、日本においても検疫強化や査証の無効化等の措置が取られていること等により、対前年同期比 2.0%と大幅に減少した。

表9 宿泊日帰り別・観光等ビジネス別訪日外国人入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目	宿泊			日帰り			4-6月期 合計
	宿泊計	観光等	ビジネス	日帰り計	観光等	ビジネス	
令和2年4-6月期 入込客数合計	1	0	1	-	-	-	1
令和元年同期比	2.0%	0.0%	7.7%	-	-	-	2.0%
令和元年4-6月期 入込客数合計	49	36	13	-	-	-	49
平成22年同期比	5.9%	0.0%	25.0%	-	-	-	5.9%
平成22年4-6月期 入込客数合計	17	13	4	-	-	-	17

※ 「平成22年同期」及び「平成22年4-6月期」は東日本大震災発災前の平成22年度4-6月期（平成22年4-6月）であること。

(5) 観光消費額

① 観光消費額単価（宿泊日帰り別・県外県内別）

観光消費額単価は表 10 及び次頁の表 11 に示すとおりである。

なお、単位の「円／人・回」は、観光入込客 1 人の 1 回の旅行における観光消費額を指す。

宿泊日帰り別・県外県内別の観光消費額単価は表 10 に示すとおりである。観光目的の観光消費額単価は、宿泊日帰り別・県外県内別のいずれにおいても、前年を下回っている。一方、ビジネス目的の観光消費額単価は、県内宿泊及び県外日帰りについて、前年を上回っている。

なお、観光消費額単価は、パラメータ調査（サンプル調査）での値であり、ビジネス目的の観光消費額単価のようなサンプル数が少ない数値については、1 回答者の金額の影響が大きいことから、時系列での比較が難しい状況となっている。

表 10 宿泊日帰り別・県外県内別観光消費額単価

単位：円／人・回

推計項目		宿泊		日帰り	
		県外	県内	県外	県内
観光目的	令和2年4-6月期 観光消費額単価	24,468	13,319	4,123	2,516
	令和元年同期比	70.9%	62.7%	63.0%	56.0%
	令和元年4-6月期 観光消費額単価	34,487	21,235	6,541	4,489
	平成 22 年同期比	80.1%	62.7%	46.9%	66.2%
	平成 22 年4-6月期 観光消費額単価	30,556	21,257	8,799	3,803
ビジネス目的	令和2年4-6月期 観光消費額単価	29,876	24,538	9,172	4,316
	令和元年同期比	89.4%	108.7%	143.3%	81.5%
	令和元年4-6月期 観光消費額単価	33,425	22,577	6,399	5,295
	平成 22 年同期比	105.4%	127.5%	143.9%	140.2%
	平成 22 年4-6月期 観光消費額単価	28,350	19,238	6,374	3,078

※ 「平成 22 年同期」及び「平成 22 年4-6月期」は東日本大震災発災前の平成 22 年度4-6月期（平成 22 年4-6月）であること。

※ 観光消費額単価には訪日外国人を含まない。

宿泊日帰り別・観光等ビジネス別の訪日外国人観光消費額単価は表 11 に示すとおりである。

新型コロナウイルスの影響により「訪日外国人消費動向調査」が実施されておらず、令和2年4-6月期の観光庁提供データは「訪日外国人客消費額単価」データが欠測となっていること、及び、パラメータ調査で訪日外国人のサンプルをほぼ取得できなかったことから、令和2年4-6月期の訪日外国人観光消費額単価は欠損となった。

前述のとおり、観光消費額単価は、パラメータ調査（サンプル調査）での値であり、訪日外国人観光消費額単価のようなサンプル数が少ない数値については、1回答者の金額の影響が大きいことから、時系列での比較が難しい状況となっている。

表 11 宿泊日帰り別・観光等ビジネス別訪日外国人観光消費額単価

単位：円／人・回

推計項目	宿泊		日帰り	
	観光等	ビジネス	観光等	ビジネス
令和2年4-6月期 観光消費額単価	-	-	-	-
令和元年同期比	-	-	-	-
令和元年4-6月期 観光消費額単価	17,666	108,323	7,907	10,319
平成 22 年同期比	-	-	-	-
平成 22 年4-6月期 観光消費額単価	167,041	44,060	122,981	16,218

※ 「平成 22 年同期」及び「平成 22 年4-6月期」は東日本大震災発災前の平成 22 年度4-6月期（平成 22 年4-6月）であること。

② 観光消費額（宿泊日帰り別・県外県内別）

観光消費額は表 12 及び次頁の表 13 に示すとおりである。

宿泊日帰り別・県外県内別観光消費額は表 12 に示すとおりである。

宿泊日帰り別・県外県内別観光消費額の総額（訪日外国人を除く）は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大による入込客数の大幅な減少を受け、対前年同期比 23.5%と大幅に減少した。

ここで示す観光消費額は、パラメータ調査の消費額単価に、P.9 の表 7 及び P.10 の表 8 に示した観光入込客数を掛け合わせた金額であることから、ビジネス目的の観光消費額単価のようなサンプル数が少ない数値により算出される観光消費額については、1 回答者の金額の影響が大きくなり、割合の増減も大きくなると考えられる。

表 12 宿泊日帰り別・県外県内別観光消費額

単位：百万円

推計項目	宿泊			日帰り			総額	
	宿泊 総額	県外	県内	日帰り 総額	県外	県内		
観光目的	令和2年4-6月期 観光消費額	2,505	1,729	776	3,502	1,228	2,274	6,007
	令和元年同期比	13.6%	11.8%	20.8%	35.2%	24.6%	45.8%	21.2%
	令和元年4-6月期 観光消費額	18,371	14,646	3,725	9,962	5,001	4,961	28,333
	平成 22 年同期比	16.0%	15.5%	17.1%	20.7%	13.1%	30.0%	18.4%
	平成 22 年4-6月期 観光消費額	15,681	11,155	4,526	16,937	9,363	7,574	32,618
ビジネス目的	令和2年4-6月期 観光消費額	4,592	1,862	2,730	487	437	50	5,079
	令和元年同期比	25.8%	13.5%	67.5%	48.9%	54.0%	26.9%	27.0%
	令和元年4-6月期 観光消費額	17,788	13,744	4,044	995	809	186	18,783
	平成 22 年同期比	47.1%	24.8%	121.6%	124.2%	598.6%	15.7%	50.1%
	平成 22 年4-6月期 観光消費額	9,751	7,506	2,245	392	73	319	10,143
合計	令和2年4-6月期 観光消費額	7,097	3,591	3,506	3,989	1,665	2,324	11,086
	令和元年同期比	19.6%	12.6%	45.1%	36.4%	28.7%	45.2%	23.5%
	令和元年4-6月期 観光消費額	36,159	28,390	7,769	10,957	5,810	5,147	47,116
	平成 22 年同期比	27.9%	19.2%	51.8%	23.0%	17.6%	29.4%	25.9%
	平成 22 年4-6月期 観光消費額	25,432	18,661	6,771	17,329	9,436	7,893	42,761

※ 「平成 22 年同期」及び「平成 22 年4-6月期」は東日本大震災発災前の平成 22 年度4-6月期（平成 22 年4-6月）であること。

※ 端数処理の関係で、合計値が合わない場合がある。

※ 観光消費額には訪日外国人を含まない。

宿泊日帰り別・観光等ビジネス別の訪日外国人観光消費額は表 13 に示すとおりである。

新型コロナウイルスの影響により「訪日外国人消費動向調査」が実施されておらず、令和2年4-6月期の観光庁提供データは「訪日外国人客消費額単価」データが欠測となっていること、及び、パラメータ調査で訪日外国人のサンプルをほぼ取得できなかったことから、令和2年4-6月期の訪日外国人観光消費額は欠損となった。

ここで示す観光消費額は、パラメータ調査の消費額単価に、P.11 の表 9 に示した観光入込客数を掛け合わせた金額であることから、訪日外国人観光消費額単価のようなサンプル数が少ない数値により算出される訪日外国人観光消費額については、1 回答者の金額の影響が大きいことに注意が必要となっている。

表 13 宿泊日帰り別・観光等ビジネス別訪日外国人観光消費額

単位：百万円

推計項目	宿泊			日帰り			総額
	宿泊 総額	観光等	ビジネス	日帰り 総額	観光等	ビジネス	
令和2年4-6月期 観光消費額	-	-	-	-	-	-	0
令和元年同期比	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-	0.0%
令和元年4-6月期 観光消費額	2,067	636	1,431	-	-	-	2,067
平成 22 年同期比	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-	0.0%
平成 22 年4-6月期 観光消費額	1,103	587	516	-	-	-	1,103

※ 「平成 22 年同期」及び「平成 22 年4-6月期」は東日本大震災発災前の平成 22 年度4-6月期（平成 22 年4-6月）であること。